



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 梅木 孝雄
問合せ先責任者（役職名） 取締役現業支援本部長（氏名） 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	6,123	△6.5	△50	—	△46	—	△61	—
2025年3月期中間期	6,545	△4.3	62	56.0	61	78.8	37	152.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △39百万円（—％） 2025年3月期中間期 6百万円（△93.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△12.57	—
2025年3月期中間期	7.78	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	15,661	6,394	40.8
2025年3月期	14,988	6,482	43.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,394百万円 2025年3月期 6,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,200	1.9	160	—	160	—	100	20.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	5,155,600株	2025年3月期	5,155,600株
2026年3月期中間期	288,193株	2025年3月期	288,193株
2026年3月期中間期	4,867,407株	2025年3月期中間期	4,867,407株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復が見られる一方、食料品を主に生活必需品の物価上昇による消費者の生活防衛意識が高まった状態が継続しております。また、米国の関税政策の影響等による世界的な景気の減速が予想されるなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは当期の基本戦略を「商品力の強化＝価格から価値へ」とし、価格以上の価値をお客様にお届けすべく開発体制を強化し、顧客満足度の高い商品の提供を目指してまいりました。しかしながら、通信販売事業の売上が計画を下回った結果、当中間連結会計期間における連結売上高は、61億23百万円(前年同期比6.5%減)、営業損失は50百万円(前年同期は営業利益62百万円)、経常損失は46百万円(前年同期は経常利益61百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は61百万円(前年同期は中間純利益37百万円)となりました。

当社グループの報告セグメントの当中間連結会計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では春夏に続き、秋冬の販売促進商品として「あったかボアのサボサンダル」「吸湿発熱シャツ」「保温マグカップ」の他、650点を超える新商品を投入いたしました。また、昨年新発売の『立ったまま履ける「SP-ON」』は、4月以降新たに14アイテムを投入し合計35アイテムの展開となりました。販売促進面では、インフルエンサー投稿やWEB広告の他、『新社長ごあいさつキャンペーン』をスローガンに、ご注文金額無料キャンペーンおよびクーポン配布等の施策を講じ、新規顧客および既存顧客の受注獲得に努めました。しかしながら、受注の牽引役となる販売促進商品の売れ行きが伸び悩み、その他商品についても価格を含めて商品の価値をお客様に明確に訴求することができず、受注件数は前年同期を下回りました。この結果、売上高は25億95百万円(前年同期比13.2%減)となりました。利益面は、広告宣伝費を主に販管費を削減いたしましたが、減収の影響が大きくセグメント利益は36百万円(前年同期比73.5%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、総合店の食品・日用雑貨等および靴専門店が堅調に推移した結果、売上高は前年同期を確保しました。また、重点販売商品である「SP-ON」は好調に推移し、靴売上の下支え役を果たしました。この結果、売上高は34億44百万円(前年同期比0.1%増)となりました。利益面は、売上高の確保に加えチラシ配布の効率化による経費削減により、セグメント利益は1億31百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主力取引先やホームセンター等その他取引先について販売が振るわず、前年同期を下回りました。この結果、売上高は83百万円(前年同期比28.5%減)となりました。利益面は、減収の影響を受け、セグメント損失は0百万円(前年同期は利益7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億89百万円増加し、111億7百万円となりました。これは、現金及び預金が11億72百万円増加し、売掛金が2億71百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少し、45億54百万円となりました。これは、有形固定資産が1億18百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6億73百万円増加し、156億61百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、34億24百万円となりました。これは、買掛金が78百万円、その他の流動負債が75百万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が1億20百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7億92百万円増加し、58億42百万円となりました。これは、長期借入金が8億2百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億60百万円増加し、92億66百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、63億94百万円となりました。これは、利益剰余金が1億9百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.4ポイント低下し、40.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ3億27百万円減少し、23億53百万円となりました。

当中間連結会計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億38百万円(前年同期比42.6%増)となりました。これは主に、売上債権の減少額2億71百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、15億12百万円(前年同期比25.5%増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出37億円、定期預金の払戻による収入22億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、8億48百万円(前年同期比1.7%増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出10億77百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2025年5月14日の決算短信にて発表しました2026年3月期の業績予測を見直した結果、当該中間期において2026年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,480,986	7,653,251
売掛金	769,508	497,985
商品	2,834,965	2,803,303
未着商品	126,169	90,178
貯蔵品	11,254	9,888
その他	100,398	57,081
貸倒引当金	△6,160	△4,671
流動資産合計	10,317,122	11,107,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,652,003	1,568,922
土地	2,589,106	2,589,106
その他(純額)	177,596	141,803
有形固定資産合計	4,418,705	4,299,832
無形固定資産	52,135	42,757
投資その他の資産	200,607	212,032
固定資産合計	4,671,448	4,554,621
資産合計	14,988,570	15,661,640
負債の部		
流動負債		
買掛金	723,490	645,041
1年内返済予定の長期借入金	1,917,616	2,038,228
未払法人税等	25,351	20,294
賞与引当金	102,134	107,778
役員賞与引当金	-	2,500
契約負債	13,707	12,212
その他	673,803	598,240
流動負債合計	3,456,103	3,424,295
固定負債		
長期借入金	4,718,307	5,520,642
退職給付に係る負債	201,481	204,068
資産除去債務	54,205	54,786
その他	76,061	63,140
固定負債合計	5,050,055	5,842,636
負債合計	8,506,159	9,266,932

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,965,282	4,855,422
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	6,410,091	6,300,231
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	54,773	66,681
繰延ヘッジ損益	7,919	15,767
為替換算調整勘定	9,627	12,027
その他の包括利益累計額合計	72,320	94,476
純資産合計	6,482,411	6,394,708
負債純資産合計	14,988,570	15,661,640

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,545,989	6,123,359
売上原価	3,572,011	3,448,595
売上総利益	2,973,977	2,674,764
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	723,738	621,372
貸倒引当金繰入額	4,034	1,010
給料手当及び賞与	856,070	845,813
賞与引当金繰入額	113,361	107,778
その他	1,214,693	1,148,966
販売費及び一般管理費合計	2,911,898	2,724,939
営業利益又は営業損失(△)	62,078	△50,175
営業外収益		
受取利息	4,194	10,973
受取配当金	1,412	1,682
受取補償金	6,183	6,929
その他	8,819	9,551
営業外収益合計	20,609	29,137
営業外費用		
支払利息	16,448	22,309
為替差損	4,703	3,061
その他	76	13
営業外費用合計	21,228	25,383
経常利益又は経常損失(△)	61,460	△46,421
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	61,460	△46,421
法人税、住民税及び事業税	25,908	9,399
法人税等調整額	△2,299	5,364
法人税等合計	23,609	14,764
中間純利益又は中間純損失(△)	37,851	△61,185
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	37,851	△61,185

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	37,851	△61,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,389	11,908
繰延ヘッジ損益	△29,747	7,848
為替換算調整勘定	△3,604	2,399
その他の包括利益合計	△30,962	22,156
中間包括利益	6,889	△39,029
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,889	△39,029
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	61,460	△46,421
減価償却費	143,398	139,542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	741	△1,489
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,124	5,643
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,500	2,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,176	2,587
受取利息及び受取配当金	△5,606	△12,656
支払利息	16,448	22,309
為替差損益(△は益)	1,894	89
売上債権の増減額(△は増加)	242,685	271,046
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,339	69,019
仕入債務の増減額(△は減少)	86,579	△77,085
契約負債の増減額(△は減少)	△1,906	△1,495
その他	△305,829	△9,260
小計	235,327	364,329
利息及び配当金の受取額	5,130	13,399
利息の支払額	△17,295	△23,993
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	14,011	△15,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,174	338,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,500,000	△3,700,000
定期預金の払戻による収入	1,400,000	2,200,000
有形固定資産の取得による支出	△105,538	△11,013
投資有価証券の取得による支出	△301	△300
その他	555	△1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,205,285	△1,512,542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,092,734	△1,077,053
配当金の支払額	△48,668	△48,665
その他	△24,375	△26,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	834,222	848,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	756	△1,479
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△133,131	△327,734
現金及び現金同等物の期首残高	2,860,598	2,680,986
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,727,467	2,353,251

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,990,074	3,439,598	116,315	6,545,989	—	6,545,989
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,990,074	3,439,598	116,315	6,545,989	—	6,545,989
セグメント利益	138,891	117,153	7,096	263,141	△ 201,062	62,078

(注) 1 セグメント利益の調整額△201,062千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃19,135千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,595,707	3,444,469	83,182	6,123,359	—	6,123,359
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,595,707	3,444,469	83,182	6,123,359	—	6,123,359
セグメント利益又は損失(△)	36,782	131,205	△92	167,895	△218,071	△50,175

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△218,071千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃18,223千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。